



ひよこぐみだより 11月号

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。

先日は親子遠足のご参加ありがとうございました。遠足の次の日、園でも「ママと行った!」「カメみたー」など写真や図鑑を見ながらたくさんお話してくれています。また、「ペンギン、お魚食べとったな」と友達同士でも体験したことを共有している姿が見られます。



秋探しをしたよ

津田公園へ散歩に出かけました。公園に着き、落ちているどんぐりに気付くと、「どんぐり!」「取っていい?」と目を輝かせていました。「これはママ。これはにいに。」とどんぐりの大きさを身近な人に見立てて集める様子も見られました。また、紅葉した葉っぱを見つけて、「あか!あつた!」ときれいな色の葉っぱ探しが始まりました。子ども達は「みて!」と散歩バックに入ったたくさんのどんぐりや紅葉した葉っぱを1つずつ大事そうにしていました。



別の日には、落ち葉シャワーをしました。保育者が「いくよー」と近くにいた子どもたちと落ち葉シャワーで遊んでいると、様子に気づいた子どもたちも集まってきて、一緒に落ち葉を集めて、「せーのっ!」と両手に抱えた落ち葉を放り投げていました。子ども達は、頭の色とりどりの落ち葉がかかると、友達と顔を見合わせて大笑いしていました。

どんぐりや落ち葉など秋の自然物に触れられる季節なので、子どもたちと見て、触れて、匂いや音を感じ、子どもたちの発見や気づきを一緒に共有していきたいです。



～ 気温に合わせた服装選び ～

子どもたちは気温が低い日でも元気に走り回り、良く動くので汗をかいていることがあります。重ね着しやすい服装、肌着は綿素材のもの、軽くて動きやすいもの、大人より1枚少なめがちょうどいいといわれています。

< 一日の「最高気温」を目安に >

● 12～14度 ●

「薄手の冬服」

半そで下着やTシャツ
+厚手のロングTシャツ
or トレーナー



● 15～17度 ●

「秋服」

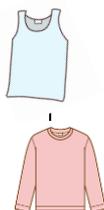
ノースリーブ下着
+厚手のロングTシャツ
or 薄手トレーナー



● 18～20度 ●

「薄手の秋服」

ノースリーブ下着
+ロングTシャツ
or カットソー



● 21～22度 ●

「夏服に上着」

ノースリーブ下着+半そでTシャツ
+薄手のジャンパーやカットソーで調節を



子どもが汗をかいたり、寒い日でも薄着をしたりすることが大切なのは事実ですが、気温の変化の影響を受けやすく、体調を崩しやすいのも事実です。昼間と朝夕の気温差が大きい季節なので、調整しやすい服装を心がけましょう。